

<飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について>

【調査の目的】

福岡県では、深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するため、全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」(以下「飲酒運転撲滅条例」といいます。)が平成24年9月に全面施行されました。

本条例に基づき、本県では飲酒運転撲滅に係る様々な取組を実施しています。

これらの周知状況等について県民の皆様の御意見をお聴かせいただき、今後、取組を推進する上での参考とさせていただきたいと思いをします。

【活用状況】

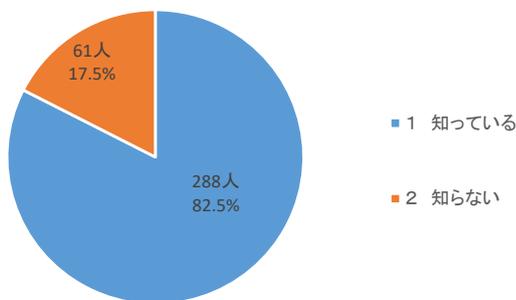
- ・飲酒運転撲滅条例の内容を始め、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

(人づくり・県民生活部生活安全課)

問1 あなたは、福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベル(参考:令和3年は全国ワースト7位)であることを知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=349 選択は1つのみ)

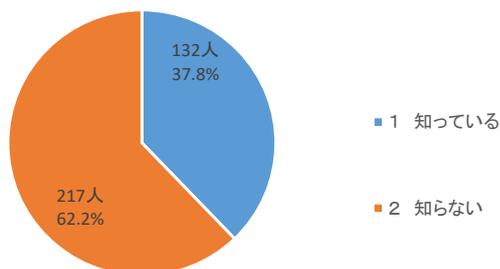
1 知っている	82.5%	(288人)
2 知らない	17.5%	(61人)



問2 福岡県では、更なる飲酒運転撲滅対策の強化と県民の意識改革を推進するため、令和2年6月に、飲酒運転撲滅条例が改正されました。
あなたは、条例が改正されたことを知っていますか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=349 選択は1つのみ)

1 知っている	37.8%	(132人)
2 知らない	62.2%	(217人)



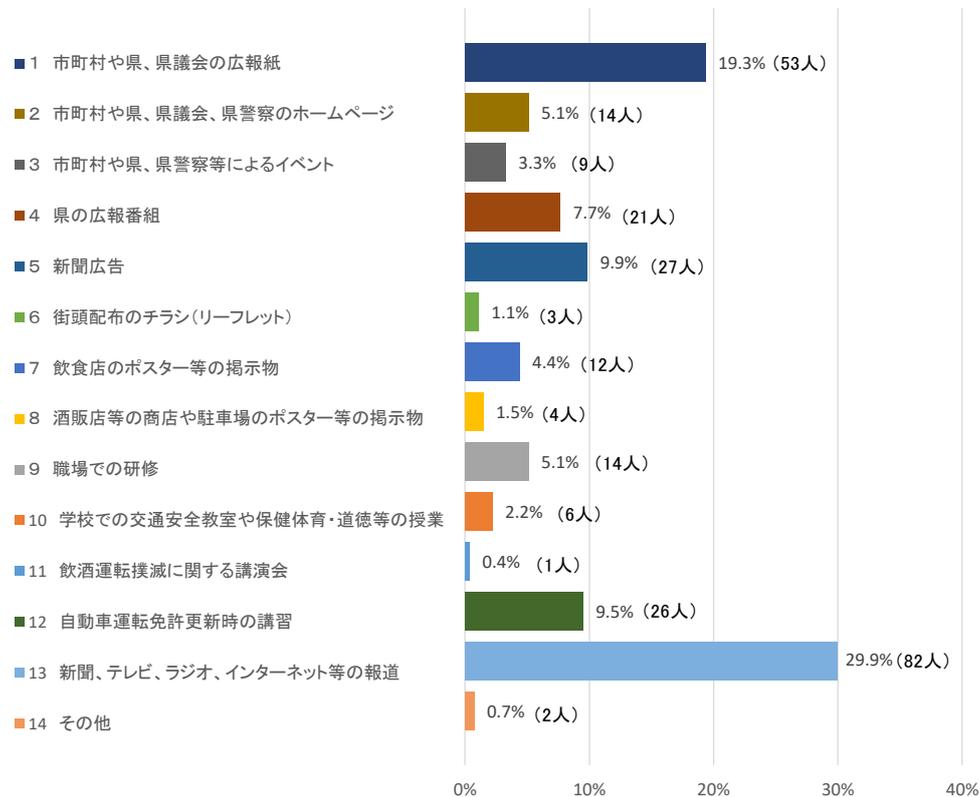
問2-2 (問2で「1」を選択された方にお尋ねします。)

あなたが、飲酒運転撲滅条例が改正されたことを知ったきっかけは何ですか。

次の中から該当するものを【すべて】選んでください。

(回答者数132人、回答件数274件、複数選択可)

1 市町村や県、県議会の広報紙	19.3%	(53人)
2 市町村や県、県議会、県警察のホームページ	5.1%	(14人)
3 市町村や県、県警察等によるイベント	3.3%	(9人)
4 県の広報番組	7.7%	(21人)
5 新聞広告	9.9%	(27人)
6 街頭配布のチラシ(リーフレット)	1.1%	(3人)
7 飲食店のポスター等の掲示物	4.4%	(12人)
8 酒販店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物	1.5%	(4人)
9 職場での研修	5.1%	(14人)
10 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	2.2%	(6人)
11 飲酒運転撲滅に関する講演会	0.4%	(1人)
12 自動車運転免許更新時の講習	9.5%	(26人)
13 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	29.9%	(82人)
14 その他	0.7%	(2人)



問2-2-2 問2-2で「14」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

(N=2)

市役所でポスターを見た

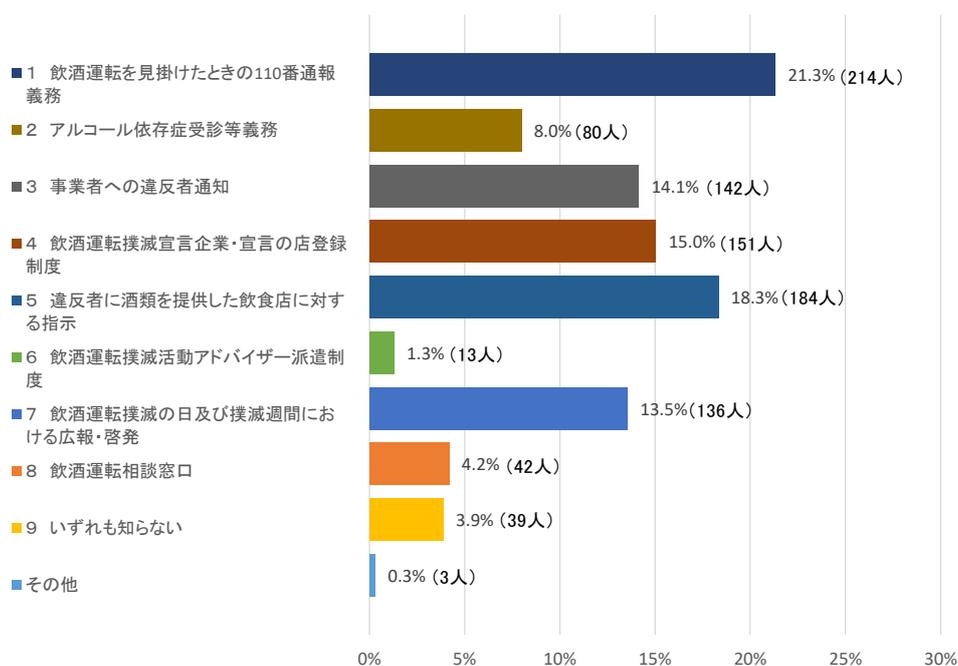
保健所での実習

問3 飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策を実施しています。

次の中から知っているものを【すべて】選んでください。

(回答者数349人、回答件数1004件、複数選択可)

1 飲酒運転を見掛けたときの110番通報義務	21.3%	(214人)
2 アルコール依存症受診等義務	8.0%	(80人)
3 事業者への違反者通知	14.1%	(142人)
4 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度	15.0%	(151人)
5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示	18.3%	(184人)
6 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度	1.3%	(13人)
7 飲酒運転撲滅の日及び撲滅週間における広報・啓発	13.5%	(136人)
8 飲酒運転相談窓口	4.2%	(42人)
9 いずれも知らない	3.9%	(39人)
10 その他	0.3%	(3人)



問3-2 問3で「10」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

(N=2)

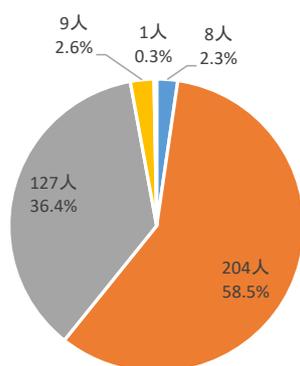
高校生が2人被害者となり、そのお母様が必死に公演や、企業に出向き訴えたおかげで、今回の条例が出来たと言っても過言ではない。私は被害を受けた現場の前に住んでいます。だから他人事ではないのです。絶対にゆるされません。

私自身が飲酒をしないし高齢者ですから友人も運転者が少なく常識的に飲酒運転の言葉自体遠い存在です。

問4 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、御自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=349 選択は1つのみ)

1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった	2.3%	(8人)
2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っており、更に強くなった	58.5%	(204人)
3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない	36.4%	(127人)
4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない	2.6%	(9人)
5 その他	0.3%	(1人)



- 1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった
- 2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っており、更に強くなった
- 3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない
- 4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない
- 5 その他

問4-2 (問4で「1」を選択した方にお尋ねします。)

飲酒運転撲滅に対する意識にどのような変化があったかを差し支えない範囲で具体的に入力してください。

(N=8)

私の義兄は、飲酒の習慣があり、運転もしていたが、この条例を機に免許証を返納した。
アルコールを飲んだら絶対に運転しない、周りにも声かけするようになった。
私はお酒を飲めないので飲酒運転をする人の気持ちがわかりませんが、やはり依存症で苦しんでる方もいることがわかりました。条例でルールがないとなかなか飲酒運転は減らないと思います、厳しく取り締まり病気の場合は強制でも治療できる方向でいいですね、
絶対飲んだら乗るな、乗らせない意識が強くなった。

問4-3 問4で「5」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

(N=1)

学生時代の飲酒運転撲滅教室で実際の例とルールを知って、飲酒運転の危険を理解し自分がしないこと人にさせないこと、乗らないことを心に決めた。
--

問5 飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(N=158)

飲酒運転撲滅の意識について(抜粋)
<p>飲酒運転事故が全国7位と知ってショックです。 意識改革と、飲酒運転の撲滅に対して徹底的に啓蒙運動をしなければと思いました。</p>
<p>飲酒運転に対しての意識が人によって大きく違うと覚えることが普段からあるので、職場での飲酒運転撲滅などもっとしたりとした対策をとった方がより多くの人に飲酒運転について考える機会ができるのではと思います。</p>
<p>すべての問題の根底にある自分さえよければという考え方が問題です。 被害者の立場になれば飲酒運転なんて絶対に出来ないことです。</p>
<p>提供側の飲酒運転意識が薄いような気がする。</p>
<p>厳罰化のきっかけになったアイランドシティでの事故があった県にも関わらず、相変わらず飲酒運転が多いのは本当に残念。自分も改めて気を引き締めたいと思っている。</p>
<p>飲酒運転撲滅に対する意識の問題は、人それぞれ個人差があると思いますが、行政や警察の啓蒙を含めて訴え続けることが大切だと思います。</p>
<p>自分だけは大丈夫、という勝手な思い込みから、未だに飲酒運転をする人がいます。 他人を巻き込む犯罪にもなりかねない危険な行動であることを、運転者自身が自覚するしかないの でしょうが、未然に防ぐことが困難なのも事実です。 飲酒運転が、どうしようもないくらいかっこ悪いことであり、人として決してやってはいけない事である と、県民に周知させていくことが急務だと思います。</p>
<p>福岡県の飲酒運転は、なぜ減らないのか不思議です。 もっと1人1人が意識を持って取り組むべきだと思います。</p>
飲酒運転撲滅の取組について(抜粋)
<p>現在行われているポスター掲示は無意識に記憶に残っているので効果的であるように感じます。 福岡で起きた海の中道の飲酒運転事故はとても痛ましく衝撃的なものでした。 風化しないよう毎年の啓発を今後も継続してほしいと思います。</p>
<p>報道で「福岡県でまた飲酒運転(の事故や死亡)がありました」という報告を聞いてがっかりさせられます。 福岡県の印象も悪くさせられたようにも感じ、腹も立ちます。暗い気持ちにもなります。 逆に、「今日も福岡県では飲酒運転による事故はありませんでした。マナーを守っていますね。みんな で守り続けて飲酒運転ゼロの県にしましょうね!？」と、むしろ飲酒運転が起きていない日を大切に して印象づけるべく、その日は県民がポジティブになるような、柔らかいメッセージを報道機関やSNS を通して毎日発信して、飲酒運転をしないイメージを日々作っていくのはどうか?と思いました。</p>
<p>社会のルールは守るべきということと、何より飲酒運転は危ないということ、子どもの頃から授業に 入れ込むなどして学んでおくといいと思います。 逆に、ここまで飲酒運転が危ないということが当たり前になっているのに、飲酒運転をする人や、して しまった人の心理を知りたいです。反省や自分を省みるということで、反省文かインタビュー形式の ものを福岡県だよりなどに載せていただきたいなあと思います。</p>
<p>飲酒運転は、アルコール依存などの病的な側面と社会規範の欠如という教育的な側面があると思 う。 病的な側面では、治療やメンタル支援などを、教育的側面では、家庭、学校などでの規範教育を地 道に行っていくことが大切だと思う。</p>
<p>本人はもちろんですが、家族や知り合いが相談できる窓口がいろんな分野にあるといいですね。 会社の保健室とか、特に教職員の方々でも安心して行ける秘密厳守の場所とかあったら気持ちが少 しは軽くなって働きやすくなりそうですかね</p>
<p>まだまだ減らないのは、自分は大丈夫と思ってる人が多いからだだと思います。 県民だけで考えるのではなく、車の改良が必要だと思います。AIで運転手の顔認識と息を吹きかけ ないとエンジンがかからないようにすれば飲酒運転は無くなるのになあと思いました。</p>
<p>自動車の飲酒運転を避けるために、例えばバスやJRなど交通機関の代替策をポスターで周知して ほしい。もしくは、飲酒して車でなくバスで帰ったというサンプルにあたるモデルケースをポスターに掲 載してほしいです。飲酒運転を回避した具体例を知りたいです。</p>